
ポケットモンスターSPECIAL ～毒殺の英雄～

ナム

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ポケットモンスターSPECIAL〜毒殺の英雄〜

【Nコード】

N1908W

【作者名】

ナム

【あらすじ】

ポケスペを読んで寝たらダイヤに憑依した主人公。

天然じゃないダイヤモンドに読者たちはついてこれるかッ！

第壱・最凶のゴース

…ここはどこだろう。

たしか家に帰ってポケスペ読んで寝た…はず…。

「なにボーっとしてんだよ、ダイヤ。」

ダイヤ…？

幼児…ポケモンみたいなの…ダイヤという名前…。
まさかポケスペの世界に憑依…とか…？

「あ、ああ。」

「ダイヤー！こっちに来て一緒に遊ぼうぜー！」

子供は元気だなあ…。

しかし、外はキツイ…。

こっちは太陽が嫌いなんだよこん畜生。

「…ポケモン…か…。」

…ゴーストタイプ捕まえよう。

俺が転生して早5年…いろいろなことがあった…。

漫才コンテストでなんやかんやで旅行券貰った…プロデューサーさん、ありがとうございます。

「パール…人にぶつかるなよ…。」

「わーてるって。」

前見て歩けって、あッ、ぶつかる。
ぶつかったか。

「いてて。」

「あの、大丈夫ですか？」

大丈夫か？打ち所が悪かったりしないかな…。
あッ、起きた。

「ああ、大丈夫じゃ。ったく、最近の若いもんは…。」

そう愚痴りつつご老人は起き上がった。

「すいません…ほんと、ほらパールも謝って…。」

ったく、本当にこいつは落ち着きつてもんがねエな。

「お主のような若者が増えたらもつと楽しあろうなア。」

「すいません…。」

「いや、私も反省しているならいいんだ。」

対応を替えたらくも違うのか。
実際は話の分かる老人だな。

「そうですか…それでは、本当にすいませんでした。」

「うむうむ、本当、君のような若者が増えたら良いのになア。」

「どうも、ほら…パール、行くよ…。」

「へ、あ、ああ。」

「見るよダイヤ、優勝賞金100万だって!」

報酬? テンガン山?

…思い出した…お嬢様イベントだ…。

「え…うん。」

九月二十八日当日。

あのパールが早起きした…だと…!
奇跡だ…。

ん、サルとカメが突っ込んで…。
つつつ、頭打った。

む、ポケモンの気配…。

視点: ベルリッツ

「御嬢さん、少しの間コレ被っててくれ。」

そう言いボディガードは私に何かを渡してきた。
ガスマスク?

一体何するんだろう?

「へ、はい。」

「ゴース…。」

彼は腰のモンスターボールに手をかけ、ポケモンを出した。

…ゴース？何をするんだろう？

「…スモッグ…」

彼が何を呟いたのかは分からない。

だけどもツクル達が、あるものは泡を吹き、あるものは血を吐き、落ちていった。

…彼は、毒ガスが舞い散る中で、不敵に笑っていた。

第壱・最凶のゴース（後書き）

どうもナムです。

ポケットモンスター SPECIAL 毒殺の英雄 第壱話、どうでしょうか。

ここまでキャラが崩壊してるのも珍しいような…。

感想、誤植などがありましたらご指摘お願いいたします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1908w/>

ポケットモンスターSPECIAL～毒殺の英雄～

2011年10月9日14時44分発行